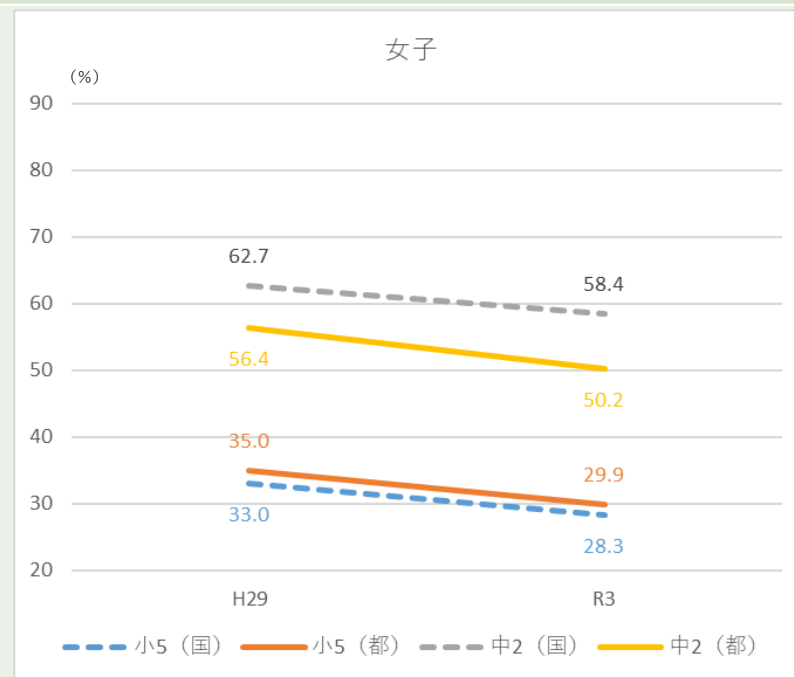
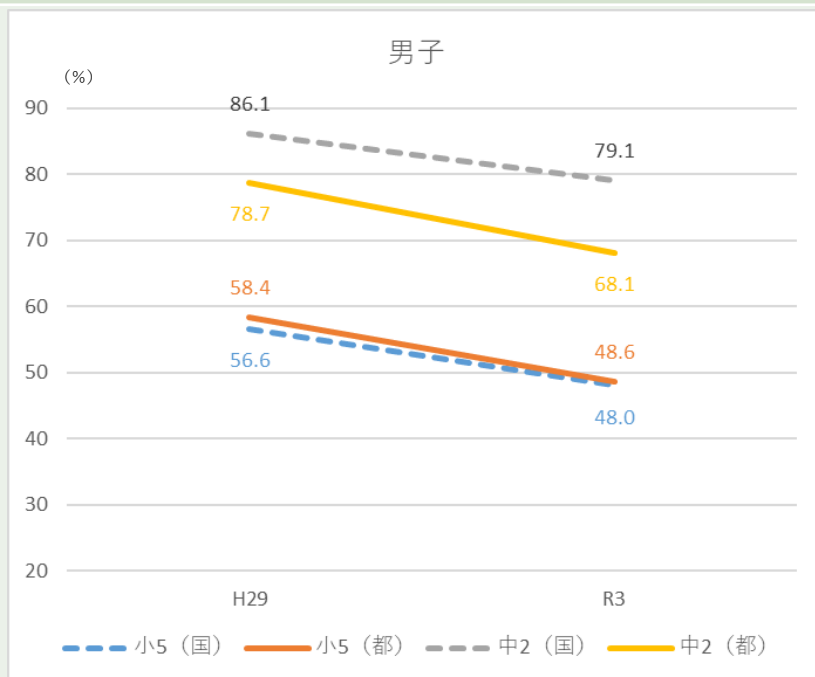


1週間の総運動時間が420分以上の割合（平成29年度・令和3年度比較 東京都（公立）・国（公立））※指標とは異なる

資料 全国体力・運動能力、運動習慣等調査〔スポーツ庁〕

図表



（注）1日の運動・スポーツ実施時間は国の設問に無いため、比較可能な設問のうち指標に相当する回答で比較
 平成24年度の調査結果は把握できず
 国の調査は、小5、中2を対象とした悉皆調査で、高校生は対象に含まれていない

- 1週間の総運動時間が420分以上の割合は、国・都の小5男女、中2男女のいずれも、減少している
- 小5男女の割合は、国とほぼ同程度だが、中2男女の割合は都が国を下回っている

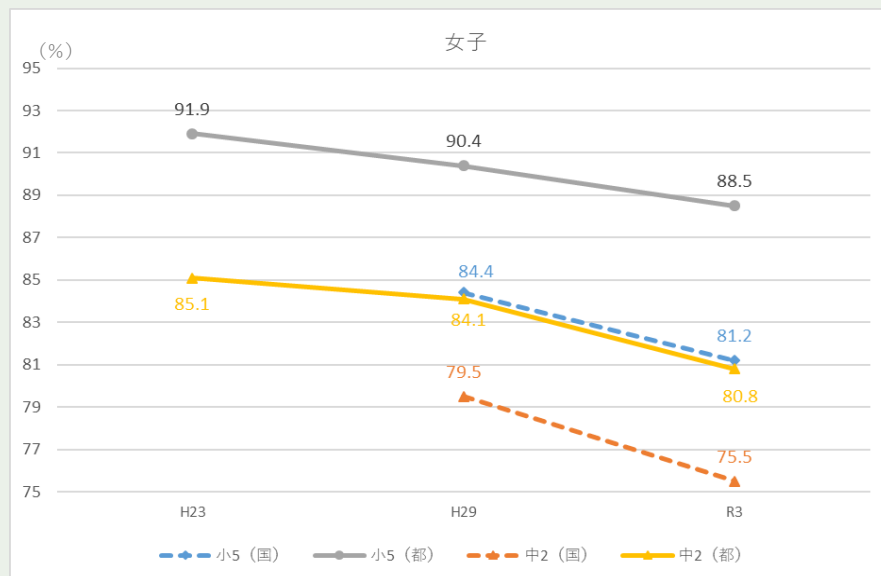
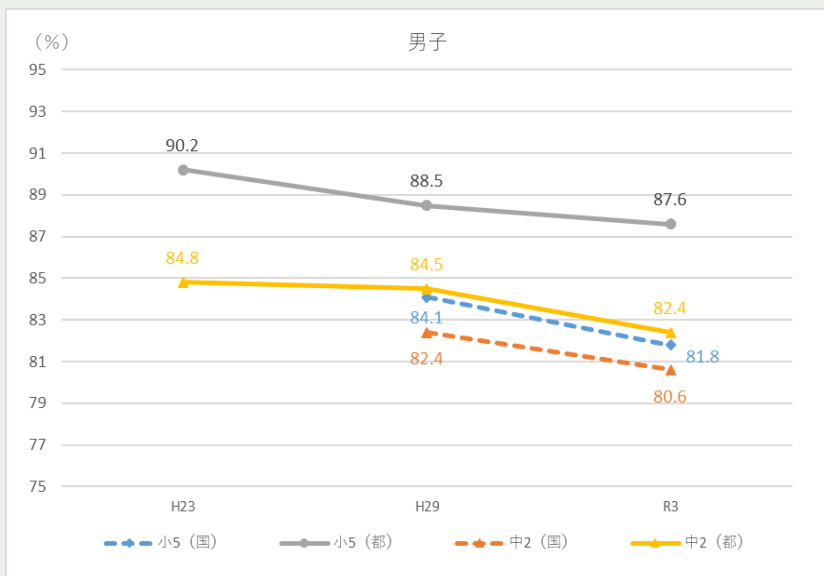
参考図表（次世代の健康）

毎日朝食を食べる児童・生徒の割合の推移（平成23年度・平成29年度・令和3年度比較 東京都（公立）・国（公立））

※設問が都と国で異なる（都：朝食は食べますか。〈小〉朝食の有無〈中・高〉／国：朝食は毎日食べますか。（学校が休みの日もふくめます）〈小・中〉）

資料 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査 [東京都教育委員会]
 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 [スポーツ庁]

図表



(注) 国の平成23年度の調査結果は把握できず
 国の調査は、小5、中2を対象とした悉皆調査で、高校生は対象に含まれていない

- 毎日朝食を食べる児童・生徒の割合は、国・都の小5男女、中2男女のいずれも、減少傾向にある
- 男子より女子の方が、毎日朝食を食べる児童・生徒の割合の減少幅が大きい傾向にある

参考図表（次世代の健康）

肥満傾向にある児童・生徒の割合の推移（平成23年度・平成28年度・令和2年度比較 東京都・国）

※肥満度が20%以上の者

肥満度（過体重度）＝〔実測体重（kg）－身長別標準体重（kg）〕／身長別標準体重（kg）×100（％）

資料 学校保健統計調査〔文部科学省〕 ※都の参考指標の出典（東京都の学校保健統計書〔東京都教育委員会〕）とは異なる

図表



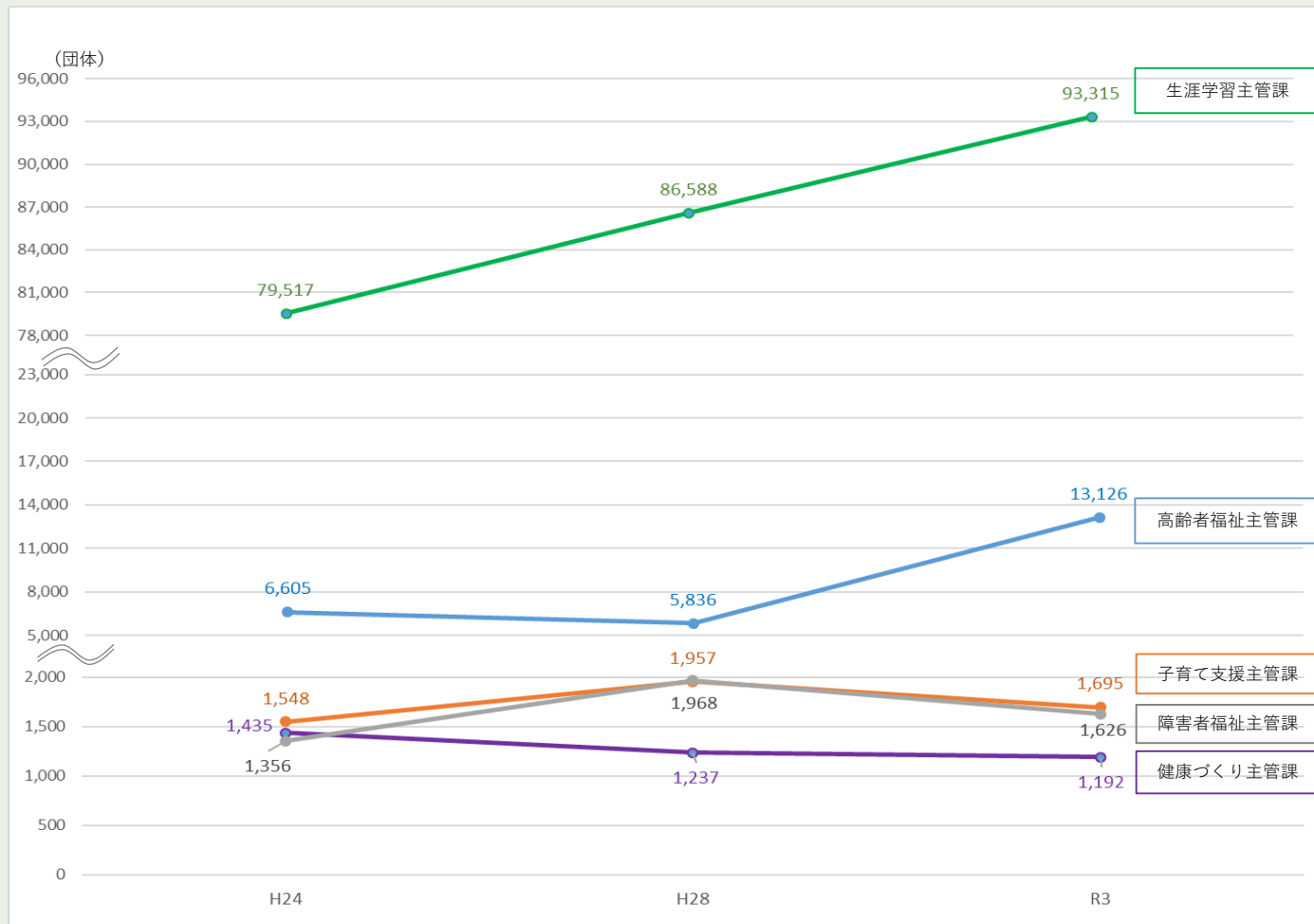
- 肥満傾向にある児童・生徒の割合の推移は、各学年・性別で、国と都で概ね同じ傾向となっている
- 肥満傾向にある児童・生徒の割合は、国より都が低い傾向だが、中1男子（R2）は都が国を上回っている

参考図表（高齢者の健康）

地域で活動している団体の数（健康、子育て支援、高齢、障害、生涯学習等の各部署で把握できる団体（各部署の公共施設等に登録又は利用実績がある団体や、部署が活動を直接的・間接的に支援している団体）の数）の推移（平成24年度・平成28年度・令和3年度比較 区市町村主管課別）

資料 都の実施する区市町村調査 [東京都福祉保健局]

図表



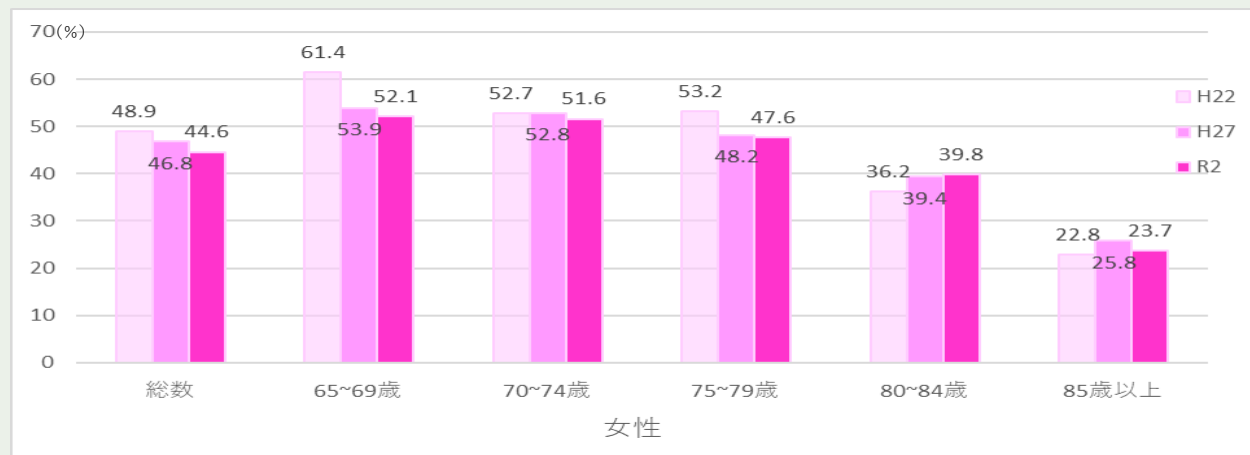
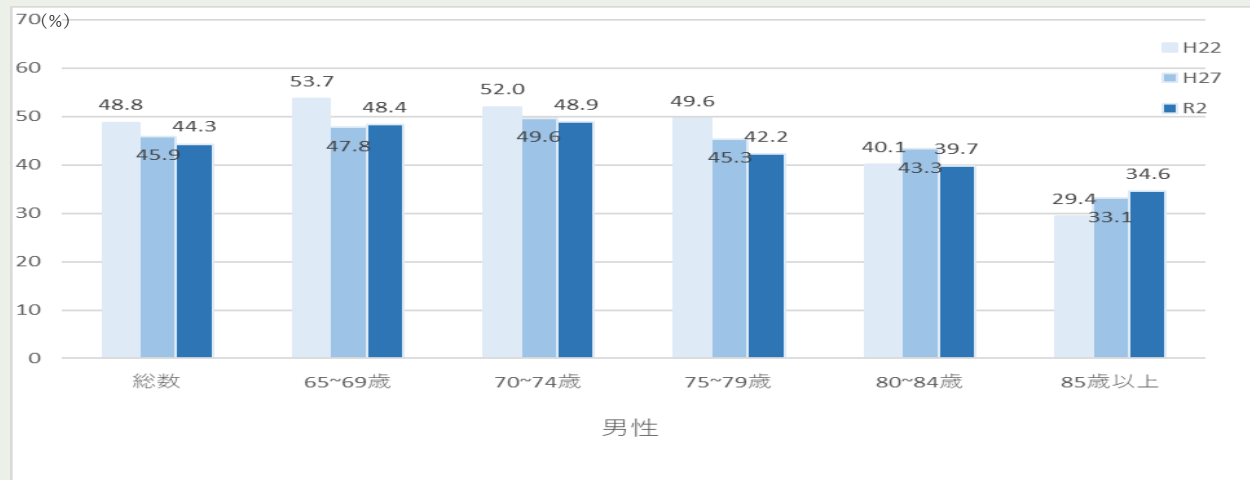
- 地域で活動している団体を区市町村主管課別で見ると、生涯学習主管課の団体の数が最も多い
- H24とR3を比較した際の増加幅で見ると、高齢者福祉主管課の伸びが大きい

参考図表（高齢者の健康）

高齢者の社会参加（スポーツや趣味等の活動をしている人の割合）の推移（平成22年度・平成27年度・令和2年度比較 東京都）

資料 東京都福祉保健基礎調査（高齢者の生活実態）〔東京都福祉保健局〕

図表



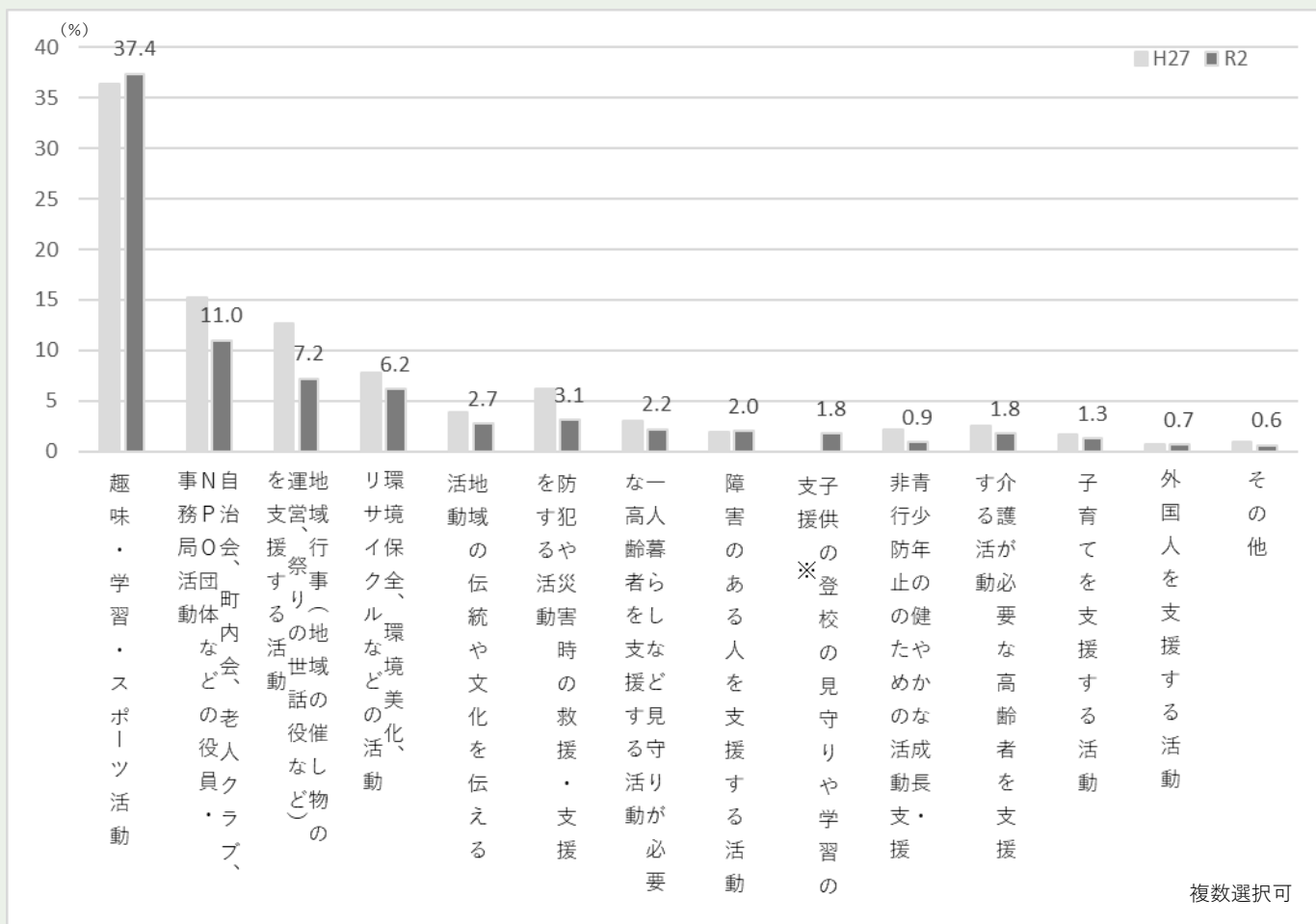
- 高齢者の社会参加（スポーツや趣味等の活動をしている人の割合）は、男女とも年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向が見られる
- H22とR2を比べると、男女の総数はともに減少傾向になっているが、女性の80~84歳と男女の85歳以上は増加している

参考図表（高齢者の健康）

高齢者の社会参加（スポーツや趣味等の活動をしている人の活動内容）の推移（平成27年度・令和2年度比較 東京都）

資料 東京都福祉保健基礎調査（高齢者の生活実態）〔東京都福祉保健局〕

図表



（注） ※は平成27年度調査では選択肢を設けていなかった

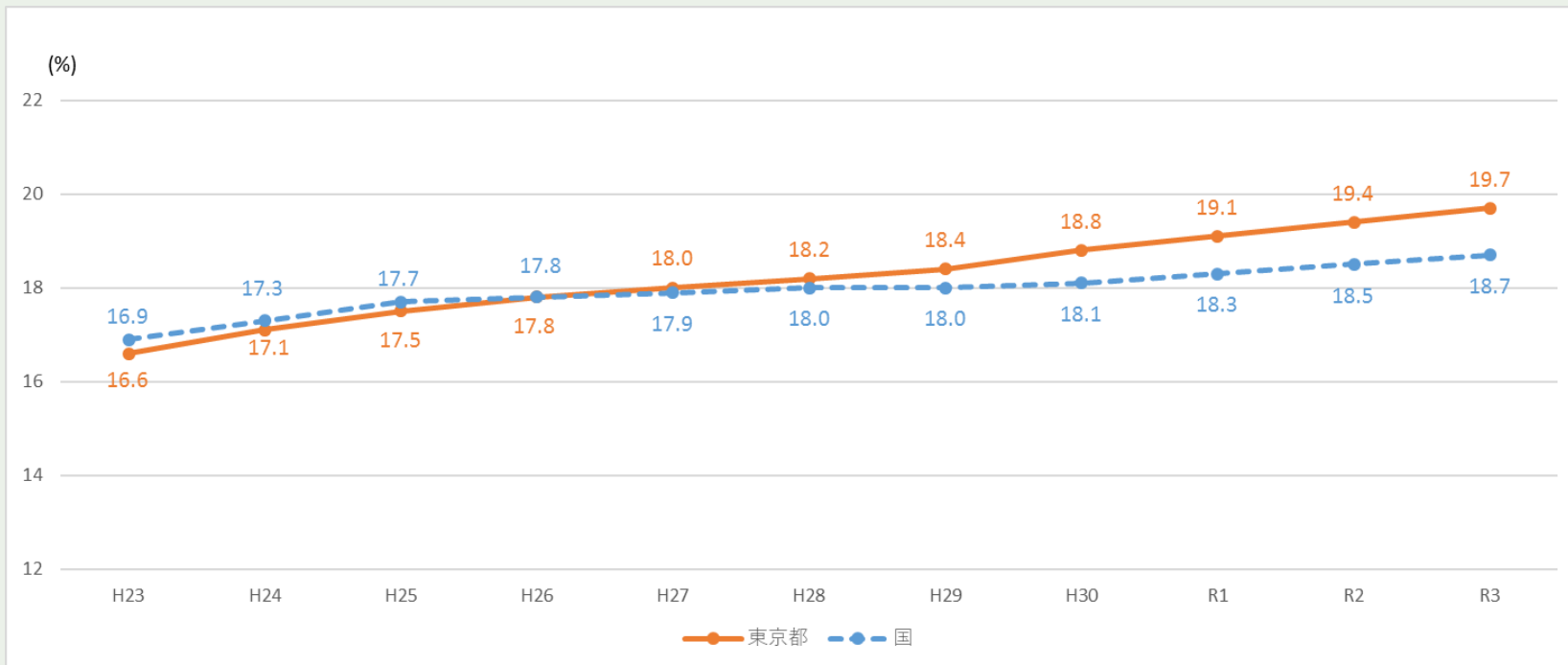
- スポーツや趣味等の活動をしている人の活動内容は、「趣味・学習・スポーツ活動」の割合が一番高い
- 「趣味・学習・スポーツ活動」、「障害のある人を支援する活動」以外の活動内容は、H27と比べて減少している

参考図表（高齢者の健康）

第一号被保険者における要介護認定者の割合の推移（東京都・国）

資料 介護保険事業状況報告（月報）〔東京都福祉保健局〕 ※毎年4月末
介護保険事業状況報告（月報）〔厚生労働省〕 ※毎年4月末

図表



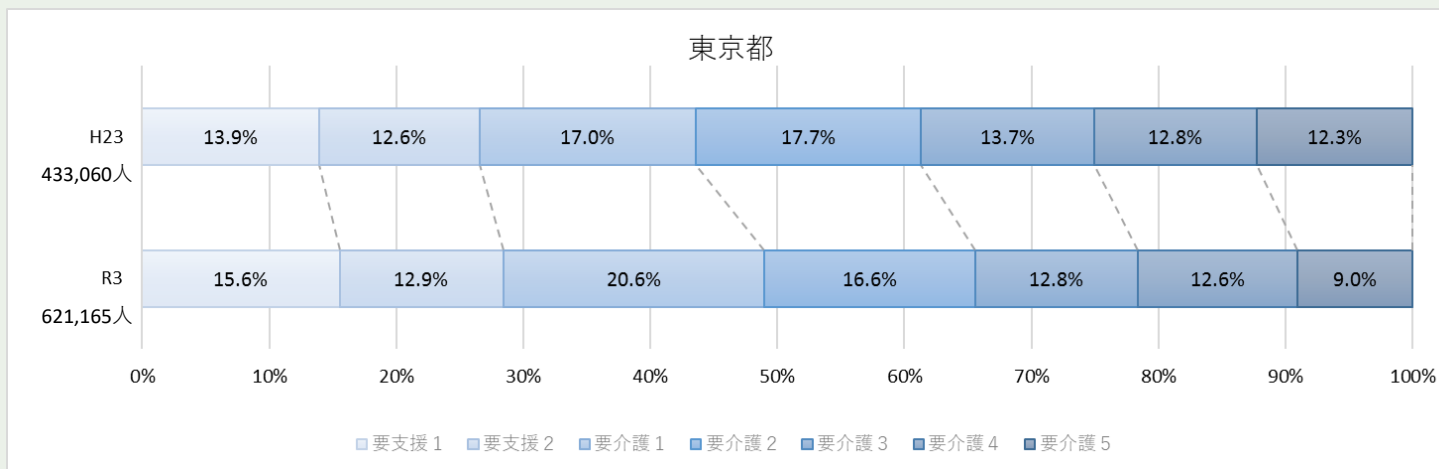
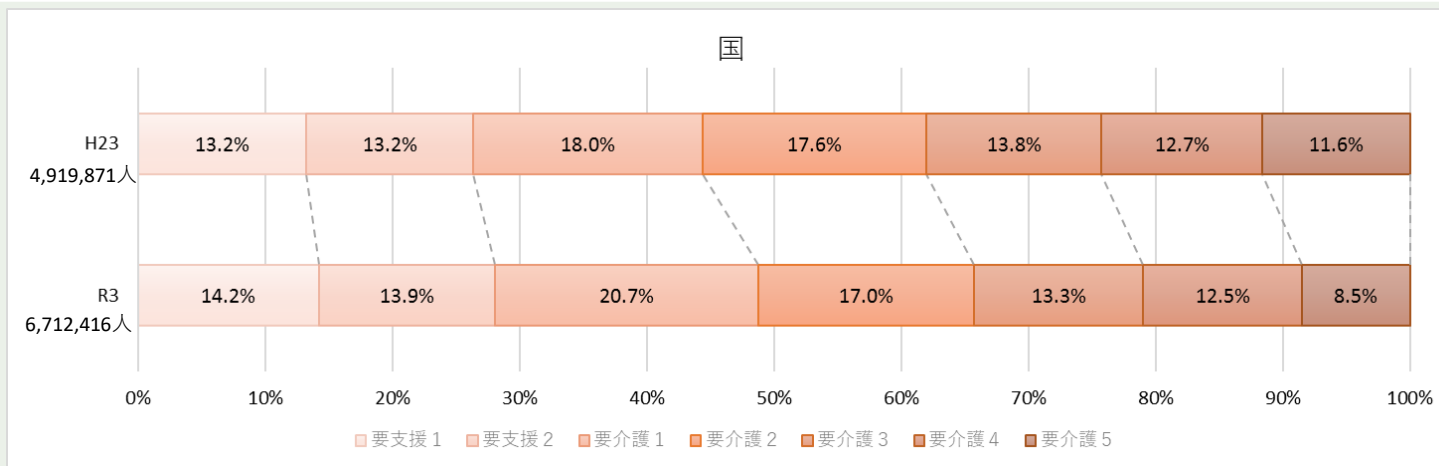
- 第一号被保険者における要介護認定者の割合は、都、国ともに増加傾向となっている
- 都と国の割合をみると、H23は都より国の方が割合が高かったが、H27に都と国の割合が逆転し、R3では都が国を1.0ポイント上回っている

参考図表（高齢者の健康）

要介護度別認定者数の割合の推移（平成23年度・令和3年度比較 東京都・国）

資料 介護保険事業状況報告（月報）〔東京都福祉保健局〕 ※毎年4月末
 介護保険事業状況報告（月報）〔厚生労働省〕 ※毎年4月末

図表



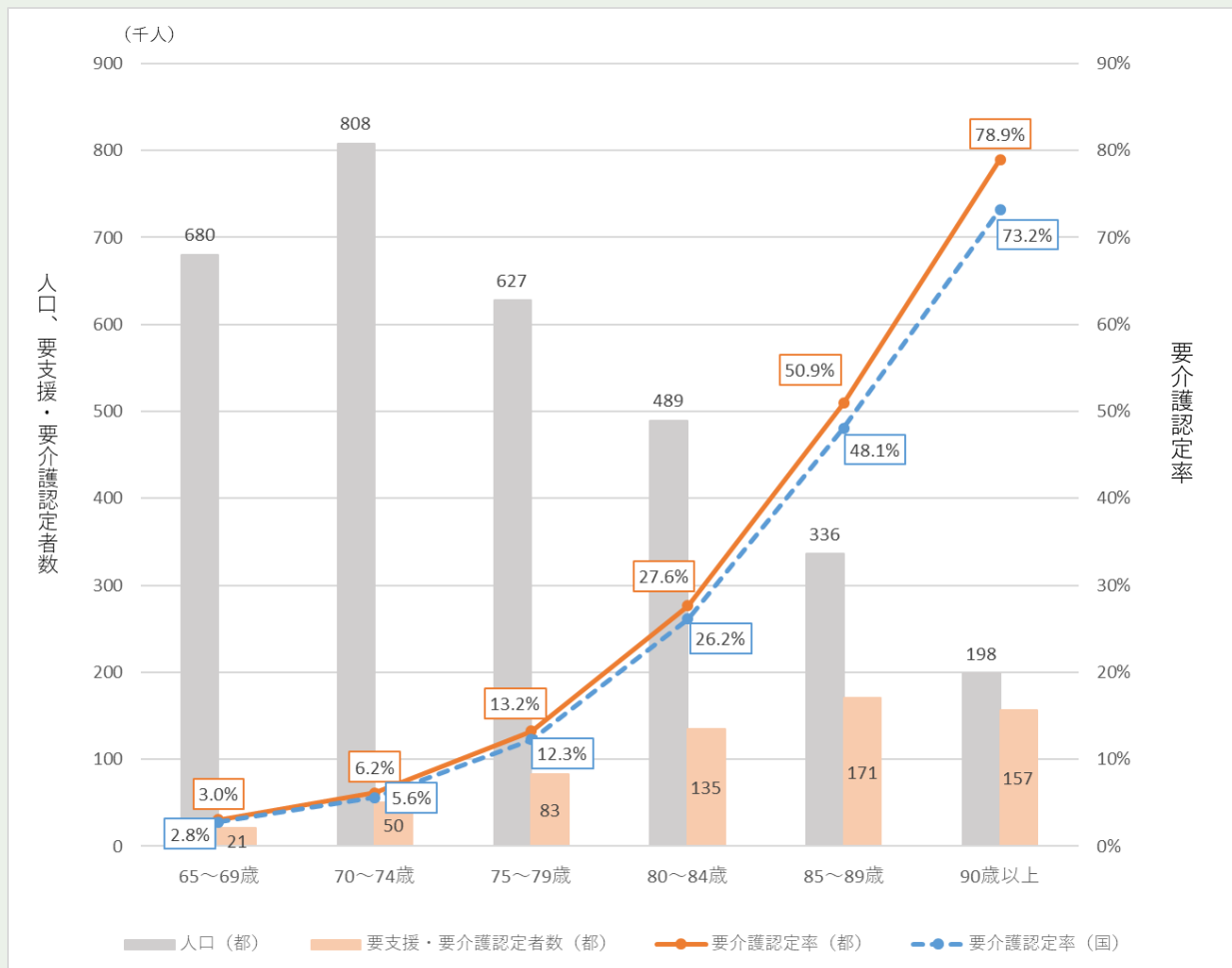
- H23と比べて、R3の要支援1・2、要介護1の割合は増加、要介護2以上の割合は減少しており、都と国は同じ傾向となっている。
- 都と国ともに、要介護1・2が占める割合が高くなっている

参考図表（高齢者の健康）

年齢階級別要支援・要介護認定者数と認定率（令和3年1月 東京都・国）

資料 介護保険事業状況報告（月報）〔東京都福祉保健局〕
 介護保険事業状況報告（月報）〔厚生労働省〕
 住民基本台帳による東京都の世帯と人口（令和3年1月）〔東京都総務局〕
 人口推計（令和3年1月確定値）〔総務省〕

図表



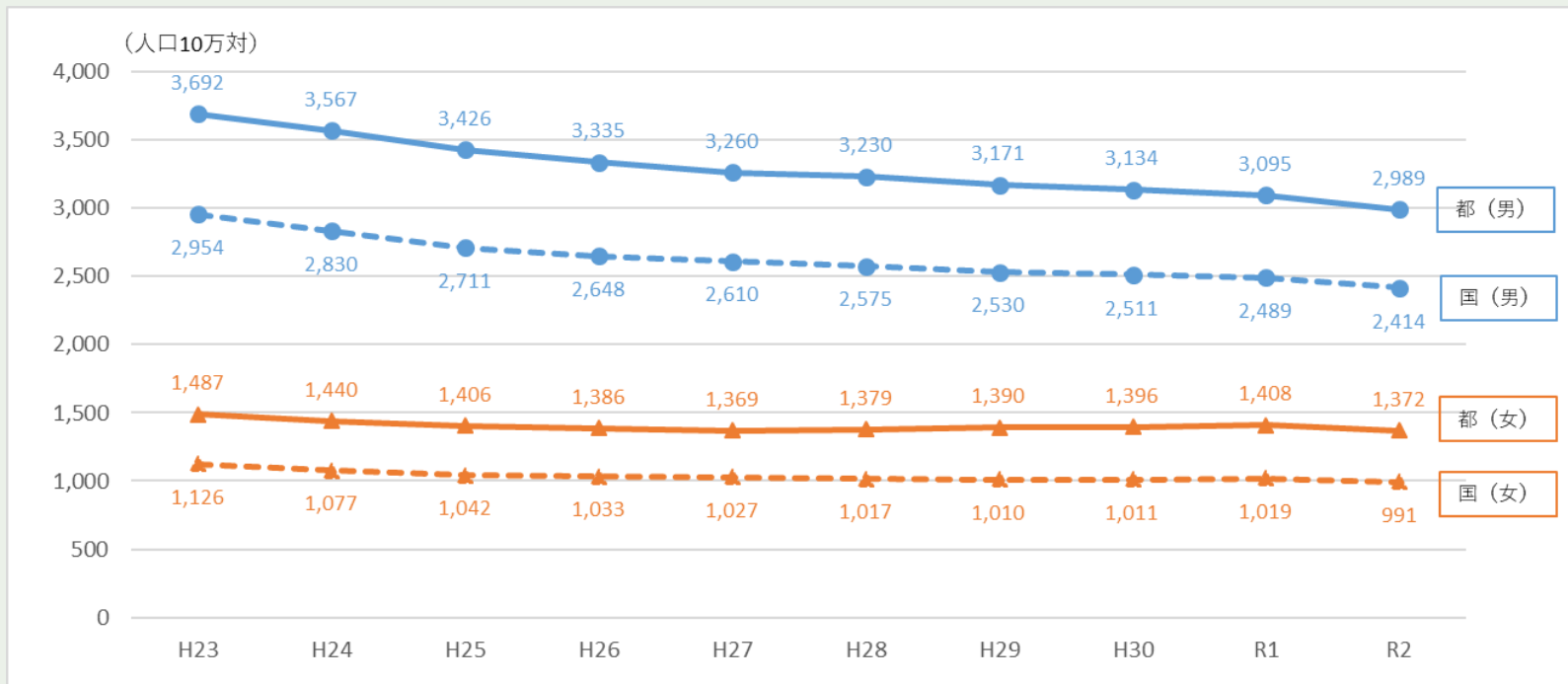
- 要介護認定率は、年齢とともに高くなり、85歳以上で5割を超える
- 各年齢階級で、都は国の要介護認定率を上回っている

参考図表（高齢者の健康）

人口10万人当たりのシルバー人材センター会員数の推移（東京都・国）

資料 会員と就業会員の男女比 [公益財団法人東京しごと財団東京都シルバー人材センター連合]
全国統計 [公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会]
住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査 [総務省] ※平成25年までは3月31日現在、平成26年以降は1月1日現在

図表



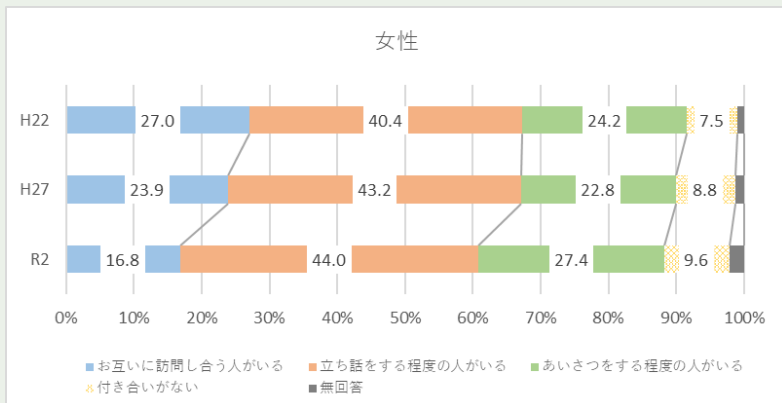
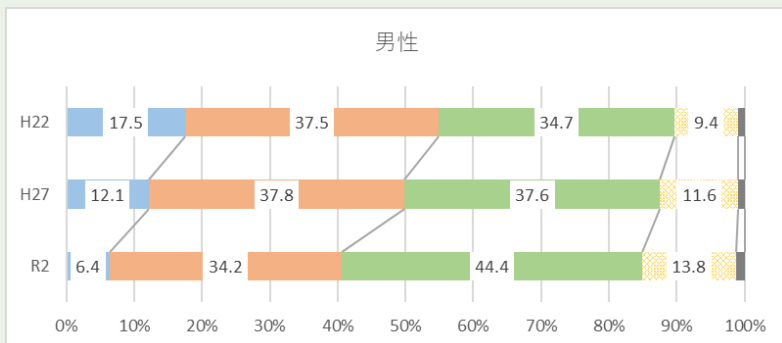
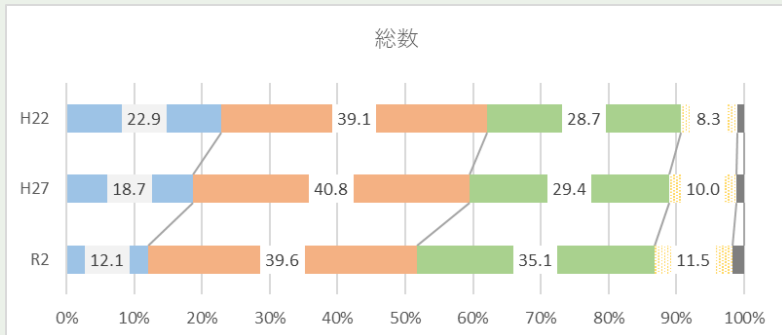
- シルバー人材センターの会員数は、国・都ともに、女性より男性の方が多く、人口10万人当たりの会員数では男女ともに都が国を上回っている
- 推移をみると、国・都ともに、女性と比べて男性の方が減少幅が大きい

参考図表（高齢者の健康）

高齢者の近所付き合いの程度（お互いに訪問し合う人がいる割合）の推移（平成22年度・平成27年度・令和2年度比較 東京都）

資料 東京都福祉保健基礎調査（高齢者の生活実態）〔東京都福祉保健局〕

図表



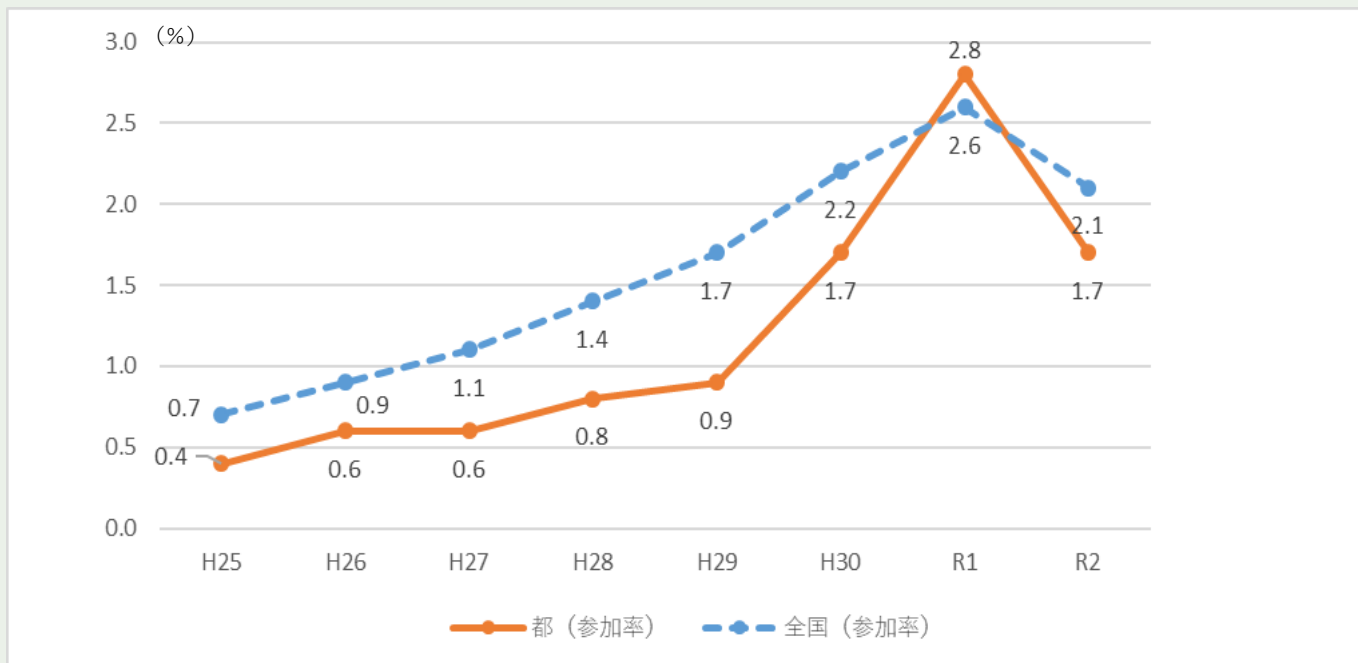
- 高齢者の近所付き合いの程度（お互いに訪問し合う人がいる割合）は、男性より女性の方が高いが男女とも減少傾向となっている
- H22とR2を比べると、「お互い訪問し合う人がいる」の割合は減少、「あいさつをする程度の人がある」、「付き合いがない」の割合は増加している

参考図表（高齢者の健康）

週1回以上の通いの場への参加率（通いの場への参加率＝開催頻度が週1回以上の通いの場の参加実人数/高齢者（65歳以上）人口）（65歳以上）の推移（東京都・国）

資料 介護予防・日常生活支援総合事業(地域支援事業)の実施状況に関する調査【厚生労働省】及び住民基本台帳【総務省】

図表



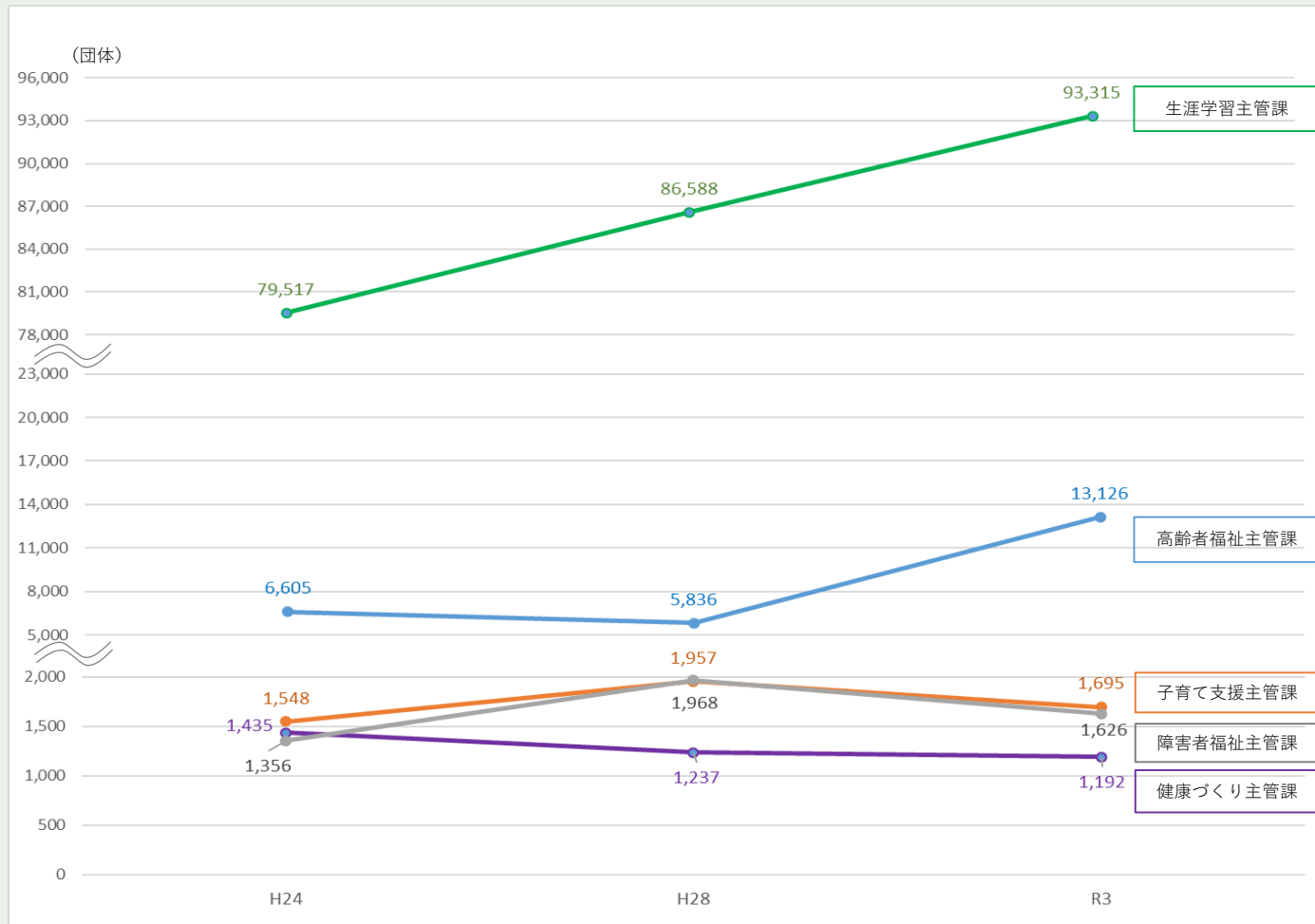
- 週1回以上の通いの場への参加率は、都より国の方が高い傾向にある
- R2は新型コロナウイルス感染症による影響を受けて、参加率が減少した可能性がある

参考図表（社会環境整備）

地域で活動している団体の数（健康、子育て支援、高齢、障害、生涯学習等の各部署で把握できる団体（各部署の公共施設等に登録又は利用実績がある団体や、部署が活動を直接的・間接的に支援している団体）の数）の推移（平成24年度・平成28年度・令和3年度比較 区市町村主管課別）

資料 都の実施する区市町村調査 [東京都福祉保健局]

図表



- 地域で活動している団体を区市町村主管課別で見ると、生涯学習主管課の団体の数が最も多い
- H24とR3を比較した際の増加幅で見ると、高齢者福祉主管課の伸びが大きい

参考図表（社会環境整備）

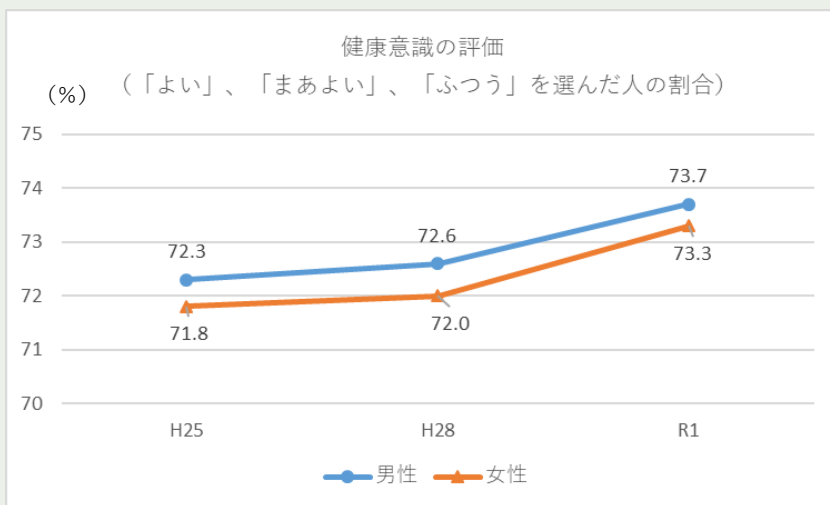
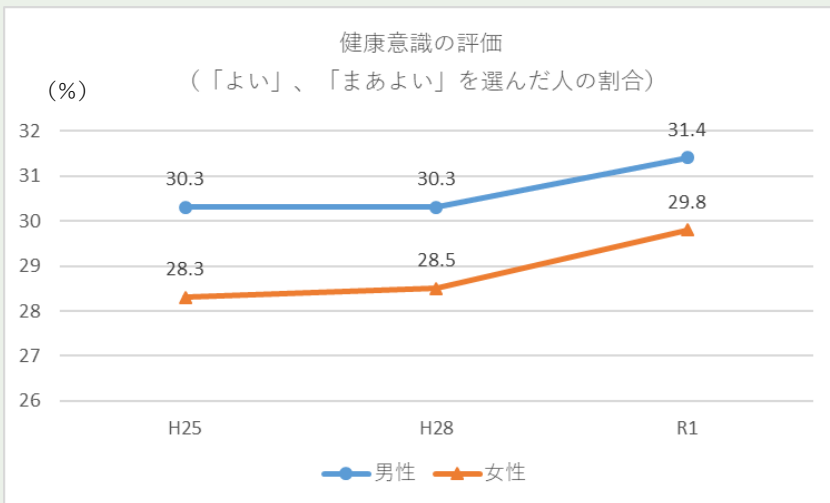
健康意識の評価の推移（20歳以上）（平成25年度・平成28年度・令和元年度比較 国）

設問：あなたの現在の健康状態はいかがですか

選択肢：よい、まあよい、ふつう、あまりよくない、よくない

資料 国民生活基礎調査 [厚生労働省]

図表



- 国の健康意識の評価の推移を見ると、男女とも増加傾向になっている
- 男性より女性の方が健康意識の評価が低い傾向にある

参考図表（社会環境整備）

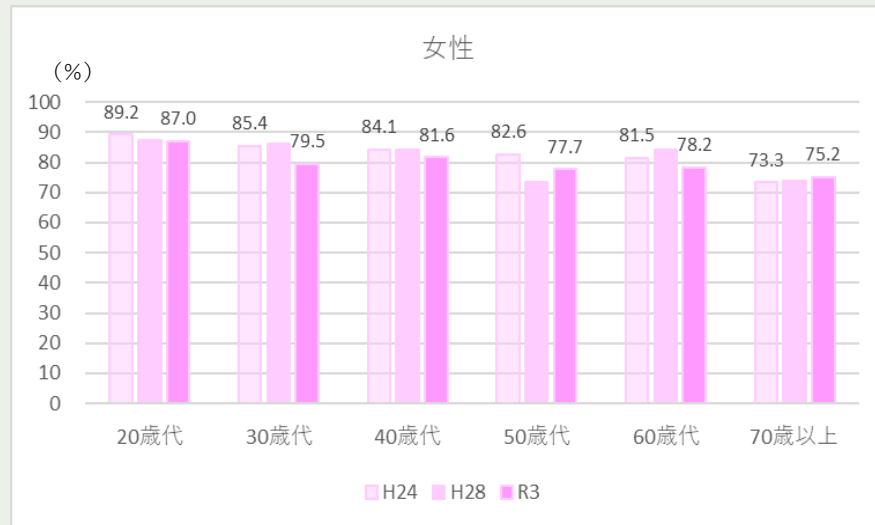
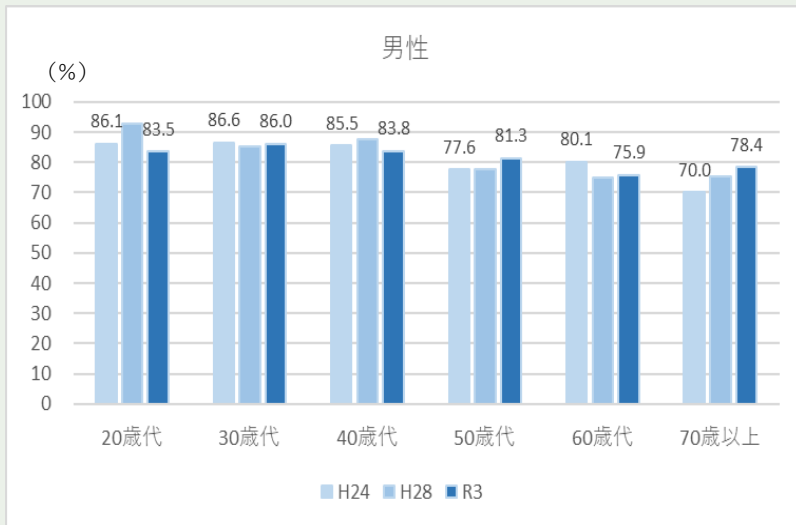
健康状態の評価（主観的健康感）（自分自身の健康状態を「よい」「まあよい」と回答した人の割合の合計）の推移（20歳以上）（平成24年度・平成28年度・令和3年度比較 東京都）

設問：あなたは自分の健康状態をどのように感じていますか

選択肢：よい、まあよい、あまりよくない、よくない

資料 健康に関する世論調査 [東京都福祉保健局]

図表



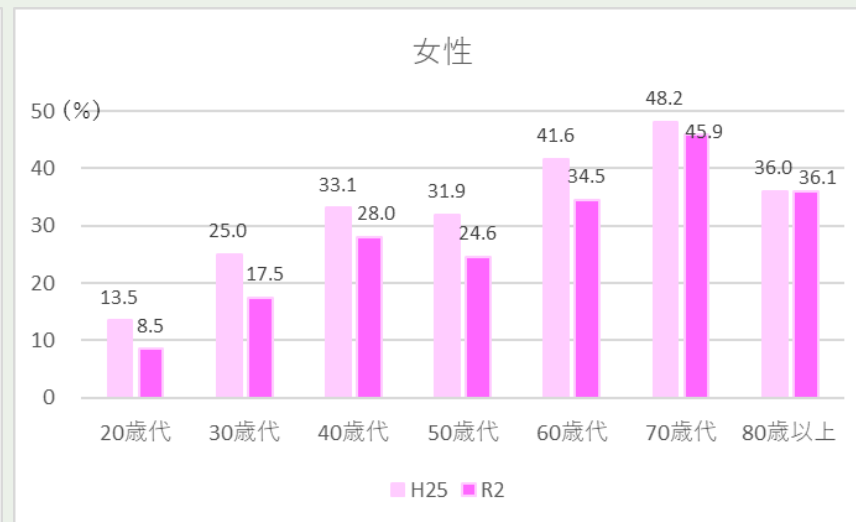
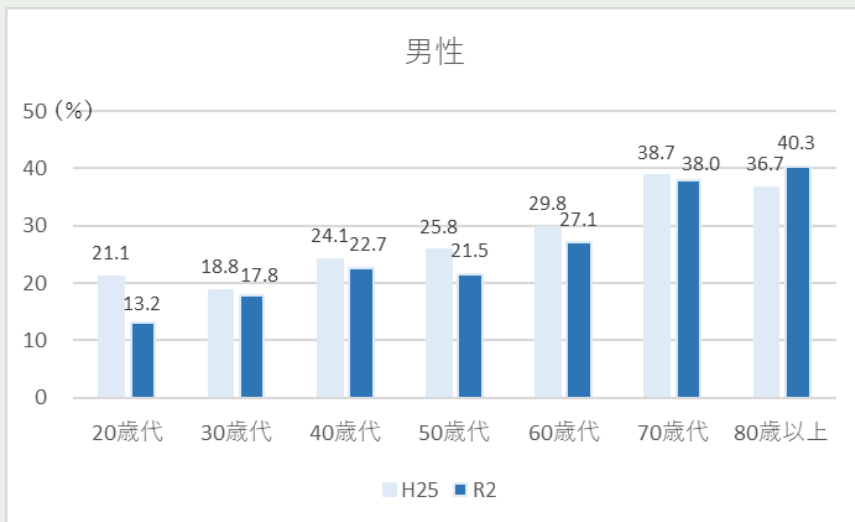
- 男性の健康状態の評価（主観的健康感）の推移を見ると、20～40歳代と60歳代はやや減少傾向の一方、50歳代、70歳以上は増加傾向となっている
- 女性の健康状態の評価（主観的健康感）の推移を見ると、70歳以上はやや増加傾向であるが、20～60歳代まではいずれの年代も減少傾向となっている

参考図表（社会環境整備）

地域のつながり等に関する都民の意識（地域のボランティア活動や趣味のグループへの参加状況）の推移（平成25年度・令和2年度比較 東京都）

資料 都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査 [東京都福祉保健局]

図表



設問：あなたの地域におけるボランティア活動や趣味のグループ（団体）への参加状況についてお尋ねします。あなたが参加している場合は、どのような活動内容ですか。（いくつでも）（参加していない場合は、9をお選びください。）

選択肢：1 スポーツ・文化・芸術に関係した活動 2 まちづくりのための活動 3 子供を対象とした活動 4 高齢者を対象とした活動
5 防犯・防災に関係した活動 6 自然や環境を守るための活動 7 食生活など生活習慣の改善のための活動 8 1～7以外の活動
9 参加していない

※参加状況（参加している）は、選択肢1～8を選択した人

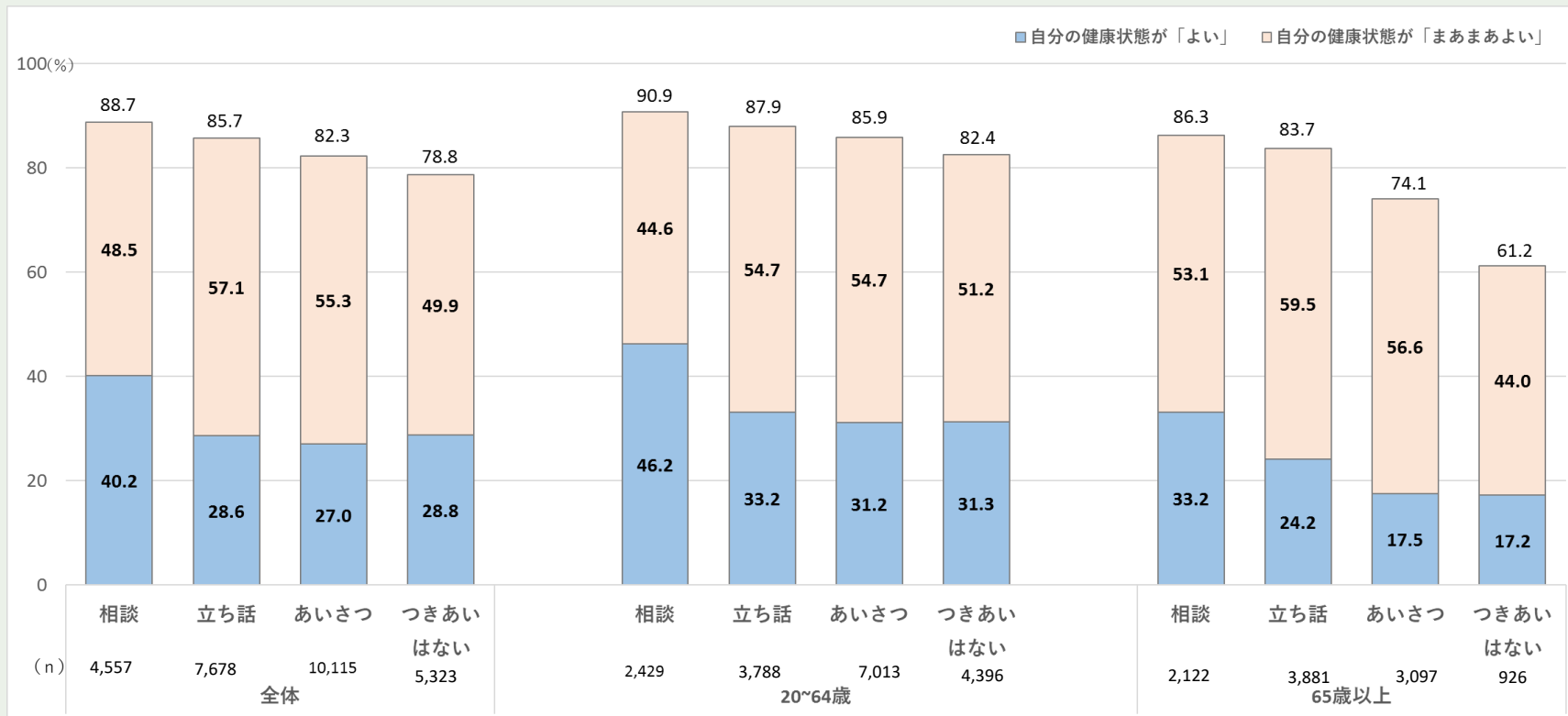
- 地域のつながり等に関する都民の意識（地域のボランティア活動や趣味のグループへの参加状況）は、男女とも年齢が上がるにつれて、参加している割合が高くなる傾向が見られるが、男女の50歳代と女性の80歳以上は一つ前の年代に比べて、割合が低くなっている
- H25とR2を比較すると、多くの年代で参加している割合が減少しているが、80歳以上は男女ともに増加している

参考図表（社会環境整備）

自分の健康状態に対する意識（地域の人とのかかわり状況別）（令和2年度 東京都）

資料 都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査 [東京都福祉保健局]

図表



- 都全体、世代別ともに、地域の人とのかかわりが強いほど、自分の健康状態を「よい」「まあまあよい」と感じている人の割合が高く、65歳以上でこの傾向が顕著
- 20~64歳は、65歳以上と比べて、自分の健康状態を「よい」「まあまあよい」と感じている人の割合が高く、地域の人とのかかわり状況による、自分の健康状態を「よい」「まあまあよい」と感じている人の割合の差が小さい
- 65歳以上は、地域の人とのつきあいがないと、自分の健康状態を「よい」「まあまあよい」と感じている人の割合が低い